

新型インフルエンザの発生状況と対策について

1 新型インフルエンザ患者の発生状況

(1) 全国の状況

- ① インフルエンザ定点あたりの報告数 2. 47人 (8月17日～8月23日)

(2) 県内の状況

- ① インフルエンザ定点あたりの報告数 1. 29人 (8月17日～8月23日)
② 新型インフルエンザ集団発生 41集団 252名 (8月5日～8月28日)
③ 学校等の臨時休業の状況 (8月22日～8月28日)
・ 学 校 学級閉鎖 8校、学年閉鎖 3校、休校 1校
・ 保育施設 部分休園 2施設、休 園 2施設
④ 新型インフルエンザによる入院患者 6名 (8月5日～8月28日)

2 感染予防及び感染拡大防止に係る対策

(1) 県民への注意喚起

- ① 啓発チラシ『自分でもできる予防の基本は「手洗い」「うがい」です』や「自宅療養の手引き」の配布
② セミナーの開催など事業所等への啓発

(2) 学校等における感染拡大防止対策

- ① 臨時休業に係る目安の策定
感染拡大を早期に防ぐため、各施設の設置者が自主的に臨時休業を行う目安を策定(患者1名の場合は本人のみ出席停止、複数名確認され感染拡大のおそれがある場合には学級閉鎖などとし、必要に応じて保健所から助言)
② 学校における新型インフルエンザ対策緊急研修会 8月31日開催

(3) 医療体制の整備

- ・ 原則として対応可能な全ての一般医療機関において外来診療を実施(632医療機関)
- ・ 「インフルエンザ外来診療の手引き」を作成
- ・ 軽症患者については、原則として自宅療養
- ・ 基礎疾患等を持つ方への対策
⇒ 院内感染防止対策の徹底
抗インフルエンザウイルス薬の早期投与
患者の状態に応じた慢性疾患に係る治療薬の長期処方

(4) サーベイランス

- ・ 感染拡大の早期探知のため学校等におけるインフルエンザ集団発生の調査
- ・ 重症化やウイルス性状の変化を監視するためのウイルス遺伝子検査の実施